つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

ピックアップ導入事例

通信不良によるストレスを感じさせない プログラミング体験環境を提供するため、体験イベントに多台数同時接続を実現する 文教向け無線LANアクセスポイントを活用

千葉テレビ放送株式会社 様

千葉テレビ放送株式会社では、千葉県下のショッピングモールで定期開催している、小学生向けプログラミング体験イベントのWi-Fi機器として、バッファローの無線LANアクセスポイント「WAPM-1750D」を採用。「公平通信制御機能」によって、20～30台のタブレットPCからネット上のプログラミング学習コンテンツへの同時アクセスを可能にする安定したWi-Fi環境を実現。児童たちのプログラミング体験を支えています。

千葉テレビ放送株式会社 営業業務局
企画事業部 須賀 裕彦 氏（以下、須賀氏）

プログラミング体験イベントに文教向け無線LAN機器の活用を検討

千葉テレビ放送株式会社では、2020年の必修化に先駆けてプログラミング教育を実施している柏市教育委員会や千葉県教育委員会、千葉工業大学など協力の元、小学生が無料で参加できるプログラミング体験イベント「GPリーグ プログラミング・ラーニングスタジオ」を千葉県内のショッピングモール各所にて月1回程度開催しています。遊びながらプログラミングの基礎が学べる本イベントは人気が高く、毎回1,500名以上が参加。人気ゲームの世界を舞台とする無料のオンラインプログラミング学習コンテンツ「Hour of Code Minecraft: Hero's Journey」などを利用していますが、その利用にあたって問題となったのは「ネット回線」「Wi-Fi環境」でした。

「GPリーグ プログラミング・ラーニングスタジオ」は、プログラミングバトル番組「GPリーグ プログラミングコロシアム」から生まれたプログラミング体験イベント

会場のネット回線有無に関わらず運用できる「移動式“文教Wi-Fi”」

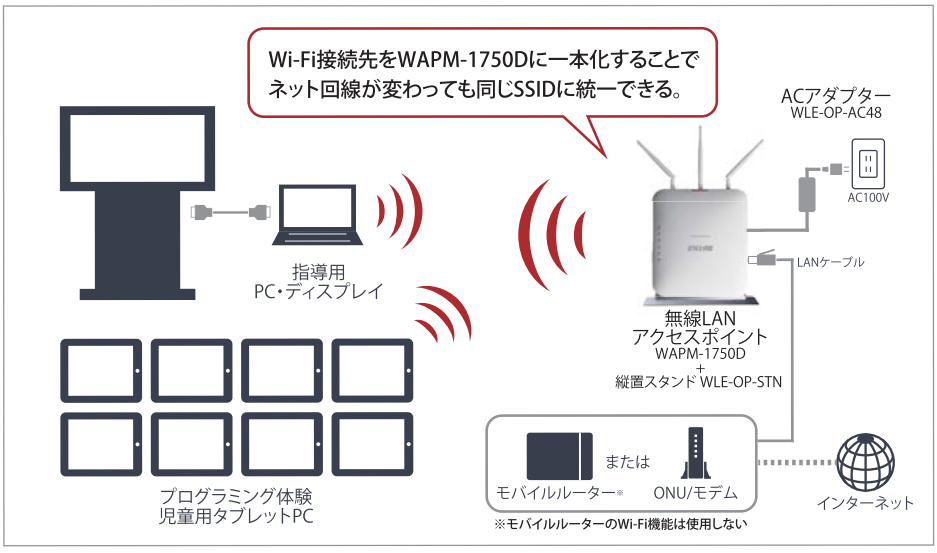
ネット回線が借りられない会場では、4台のモバイルルーターを使って「Hour of Code」体験に使うタブレットPCをネット接続していましたが、その運用方法では接続性の問題や機器管理面での手間が増え困っていたと須賀氏は話します。それらの問題の解決策を模索していた須賀氏は、プログラミング学習が必修化となる小・中学校が導入を目指すWi-Fi機器を使用することで解決できると考え、「公平通信制御機能」を搭載し文教向けに最適な「WAPM-1750D」を採用しました。

25台のタブレットPCが同時接続 モバイルルーターは1台で十分

須賀氏は有線LANに対応したモバイルルーター1台と「WAPM-1750D」を組み合わせた「移動式“文教Wi-Fi”」を構築。2018年6月開催のプログラミング体験イベントで早速このWi-Fi設備が使用されました。人気の「Hour of Code」体験教室には約180名もの児童がエントリー。8回に分けて実施し1回の体験教室で24台の児童用タブレットPCと須賀氏が使う指導用PCの計25台が同時にWi-Fi接続。ネット回線はモバイルルーター1台であったにも関わらずイベント終了までの約5時間で通信不良は一切発生せず、「移動式“文教Wi-Fi”」を使用した初めてのイベント開催は無事に終了を迎えることができました。

Wi-Fi安定化・通信コスト削減にも効果

モバイルルーターに文教向け無線LANアクセスポイントを組み合わせるこの構成例は、準備工数の削減や通信品質の向上だけでなく、モバイルルーターの数を1/4に抑えられたことによる通信費削減の面でのメリットも高く、プログラミング体験イベントのほか、あらゆる場面で応用できる移動式Wi-Fiの機器構成としておすすめです。



「GPリーグ プログラミング・ラーニングスタジオ」の「移動式“文教Wi-Fi”」

導入製品

11ac/n/a 3×3対応
公平通信制御機能搭載
無線LANアクセスポイント
WAPM-1750D

エアステーションプロ用
ACアダプター
WLE-OP-AC48

エアステーションプロ用
縦置スタンド
WLE-OP-STN

株式会社 バッファロー

ホームページでさらに詳しい情報を発信中
buffalo.jp/jirei

QUICK! ナンバーの使い方
0041 検索
バッファローホームページトップの検索ウィンドウにナンバーを打ち込み、検索ボタンをクリックしてください

※掲載されている各製品名は一般に各社の商標または登録商標です。※デザイン・仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります。※記載されている価格は希望小売価格です。